

松木日向緑地プログラム

# 松木日向緑地の 竹林整備と散策

2022年11月13日（日）

## 報告

### 紅葉の季節、竹林整備と散策

「地域ボランティアプログラム（松木日向緑地プログラム）」の活動として、都立大・南大沢キャンパス内にある松木日向緑地の竹林整備活動4回目を行いました。学生ボランティアは9名（メンバー5名、サポーター4名）の参加で、初参加のメンバー2名がいました。今回は、「ひなた緑地遊学会」のサポートはなく、地域ボランティア単独での活動となりました。

午前中、秋晴れの爽やかな空の下、赤・黄色に紅葉が最も美しい季節になりました。黄金色の落ち葉の絨毯を踏みしめ、東側の緑地斜面の小径を少し下ったところで、竹林の伐採場所を決めました。3人一組になり、竹の伐採を行いました。

初参加の2名はサポーターからの懇切丁寧な指導のもと、ノコギリによる伐採作業で竹を受け口・追い口と切って倒し、玉切り・枝払い、集積の作業を学びました。また、学生ボランティアだけの活動ということもあり、鋸は使用後すぐに鞘の中に入れて怪我の予防に十分努めるように徹底できました。4回目の竹林整備ということで、太い竹の伐採もどんどんチャレンジして倒していく様子が数多く見ることができました。背の高い竹を倒す際には、大声で「倒れるぞ」や「倒れます」と大声で言って注意を喚起し、3人が協力して作業を分担しました。各グループで休憩時には水分補給を十分に行いました。作業を進めるに従って、汗ばみ上着を脱ぐような暑さとなり、約1時間の作業で多くの竹を伐採しました。

### 竹林伐採の様子



太い竹を安全に効率よく切り倒すことができました。



### 今回の竹林伐採場所と散策コース



首都大学東京・東京都立大学 ひなたブック製作委員会『ひなたブック』, 2007より

### 松木日向緑地の散策

後半は、松木日向緑地を東から西に散策し、途中、11号館裏手の池でいったん休憩すると、青いカワセミが羽ばたいて、皆、見とれていました。ゴルフ練習場脇の竹林には真竹と孟宗竹が混ざって生えていました。そこで2種類の竹の違いを知ることができました。松木日向緑地の斜面の小径を歩いた後に登って散策を終わり、青く澄んだ秋空、枯葉が舞う集合場所で、振り返りを行い、無事に終了しました。

### 参加者の声

- ボランティアの目標の一つとして、伐採技術の伝承があった。今回始めて伐採技術に触れたことで、この目標に一つ近づくことができた。今後はさらなる技術習得に加え、竹林、緑地の知識をもっと身に付けられるようにしたい。
- 反省点としては、切り口の方向を熟知しておらず倒す方向を見極めることが難しかった場面があったので、今回の活動を忘れずにその都度復習すべきだと感じた。緑地散策では、歩くたびに見える・感じる景色が違ってくることが緑地の魅力なので、今後の活動にも散策を採り入れながら少しずつ地域交流の在り方についてイメージを膨らませたい。
- 緑地の新たな発見が数多くあり、改めて都立大の自然の豊かさに驚かされた。まだまだ知らないことも沢山あるし、竹林整備も磨きをかけていきたい。
- 竹林付近と比べて、生命科学科の温室？付近や池の近くの道は、きれいに整備されており日常的に利用されていることがわかった。みんなで探索することで、地図をみるだけでは見つけることのできない新しい視点や発見ができた。
- やはり、グループ行動はお互いに助け合って活動ができ、良いと思う。
- チームで活動できたことが良かった。
- なにげないことも知識によって鮮やかになったりする。